

# ほのぼの

ネットワーク通信  
第13号

発行者  
第4期同期会会長 新見 正康  
平成27年8月 1日発行



画 東江 順子

暑い日が続きますが如何がお過ごしでしょうか。  
新見さんが三代目の会長に就任され、どんな企画運営をされますか期待が膨らみますね。会員の支援と惜しめない協力をお願いします。  
今回は、お元気です会の行事（門司レトロ散策と萩バスハイク）と会員（香月・岡本さん）の投稿記事、そして、新見会長の決意表明となっています。  
編集委員も岡本さんを迎え、より親しまれる内容にと張り切っています。



## 「ほのぼのネットワーク」の原点は 会長 新見 正康

4期同期会ほのぼのネットワークは、初代福内会長、2代目香月会長のご尽力により、同窓会の中で重要な位置を占めてきました。その間、私はずっと副会長として会長を補佐する役回りに徹し、それが自分の本分だと思っていました。今回、会長を仰せつかって、大いに当惑していますが、副会長の神野さん、福内さん、三好さん、会計の高さんの三役を中心に、相談役の香月さん、岡本さん、会計監査の岡さん、幸田さん、4期連絡員の繁松さんをはじめ、会員の皆様のご協力をいただきながら、なんとか1年間がんばってこうと思っています。

今年度は、同窓会の方針として「**会員相互の情報の共有と支援**」が大きな目標とされています。6年前、「生涯現役」という言葉に惹かれて入塾したときのことや、卒塾後の同期会結成時に、自分より仲間のために東奔西走する「雨ニモマケズ」の精神に共感して、「ほのぼのネットワーク」と名付けたときの熱い気持ちを思い出してください。

300人を超えた同窓生には、実に様々な活動をしている多様な人材があふれています。これらの人と積極的にふれあって、人生を楽しむことが、生涯現役につながるのではないのでしょうか。



書 江崎 弘子

何でも挑戦、もう、  
時間がない

## 「花燃ゆ」の舞台 萩へのバスハイク

H27.6.27(土) 08:00～18:30

男性:6名、女性:13名

出発時は雨でしたが、皆さんの熱気で昼ごろには晴れあがり、明治維新の息吹をちょっぴり感じながら地元の料理に舌鼓を打ち、温泉で老体を見せ合いながら疲れを取り、名産品を漁って帰路に着きました。



## 情報はどこから

## 岡本 睦彦

毎日毎日、私達にはいろいろな情報が入ってきます。私の場合は新聞・テレビが主で少々がラジオからです。正直その他、書籍や専門家から広く情報を集めているとはいえません。

種々雑多な世間で発生している多くのことに、何らかの自分の考え述べる時、多くは上記の情報に基づいているといわざるをえません。しかし、本当にそれでいいのでしょうか。その情報は正しいのか、正しい理解をしているのかと疑問を持つ必要があると思います。

自分の能力不足等を、外しておいて言うのは勝手すぎますが、私は判断の基になっているマスコミに矛先を向ける気持ちが強くあります。私達の日常の判断へのマスコミの影響は大きいものがあります。それだけに、マスコミといわれる機関には客観的で、公正な情報を届けてもらいたいものです。

印象に残っているのは、世界最初の発見と言われたSTAP細胞について、その日ラジオで事細かに解説していました。

本当にそうだったのでしょうか。このような例は多々あるように思われます。

私達一般の市民はマスコミの情報が頼りです。マスコミさん、信頼できる情報の提供、よろしくをお願いします。

(次回は**梶谷忠明**さんをお願いします)

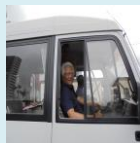
## Schedule

・好評でしたバスハイクを、次回は秋ごろに大分方面で収穫のお土産と温泉を絡ましたものを検討中です。

当会にはマイクロバスの運転ができる人が二人と名企画者がたくさんいらっしゃいます。安くて一日楽しめますよ。

萩のバスハイクでは4期から10名の方が参加しています。皆さんと夢追いで出会い「袖振り合うも他生の縁」と感じ、いろいろな機会にお会い出来る事をたのしみになっています。

バスハイクで皆さんにお会いしたく、皆さんの参加を期待しています。詳細は後日。



## 同窓会の行事

- ・穴生学舎 食の祭典 10月17日、18日(土日)
- ・仮称「すてきな仲間たち」 11月7日(土) ウェル戸畑
- ・同窓会懇親会 12月5日(土)

## 門司港レトロの散策と総会

27.3. 22(日)

桜の花の様子うかがいに春の気配、陽気に誘われながら総会とお元気です会を兼ねて門司港レトロを散策し、由緒ある三宜楼での昼食をセットで楽しみました。

松永文庫では健さんに、九州鉄道記念館では蒸気機関車、出光美術館では楽茶碗と多くの出会いに感謝です。

総会には、19名の方に参加いただき、26年度の報告

27年度の活動計画を話しあいました。懇親会では、参加者の近況をスピーチ頂き、繁松さん、久保さんからは「南京玉すだれ」「奴こさん」をご披露いただきました。



## あじさいガイド

## 香月 英彦

華麗なマリンブルー(西洋あじさい)などが咲く前に、山あじさいの紅(くれない)や七段花が森の静寂のなかに映えます。若松・高塔山のあじさいは6万5千株で日本有数の育成地です。6月のあじさい祭りは毎年多くの観光客で賑わいます。今年で4回目を実施した「若松・高塔山あじさいガイド」を4期はもちろん夢追塾同窓会の仲間が続けています。参加してみませんか。



シーボルトゆかりの七段花

## 感謝と進化

夢追塾同窓会の第5・6期(平成25年度～26年度)の会長就任時の会員の皆様のご支援を心から感謝しております。

さて、2025年には、団塊の世代が75歳を超えます。同窓会は「その未知の長寿社会を素敵に迎える提案・実践グループ」として進化して欲しいと祈念します。

そのためには「他人はもとより自分のためのボランティア」という考えで、「さりげない日常生活」のなかで自分の夢の実現に努力し継続・継承することが必要だと想います。